

実習先：葛利毛織株式会社  
有限会社カナーレ

生地制作：有限会社カナーレ・岩安毛織

### ●それぞれの実習先で何を学んだか

#### 【有限会社カナーレ・岩安毛織】

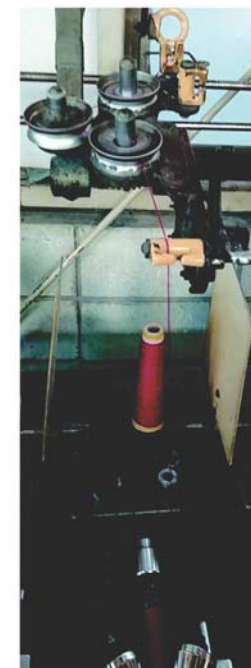
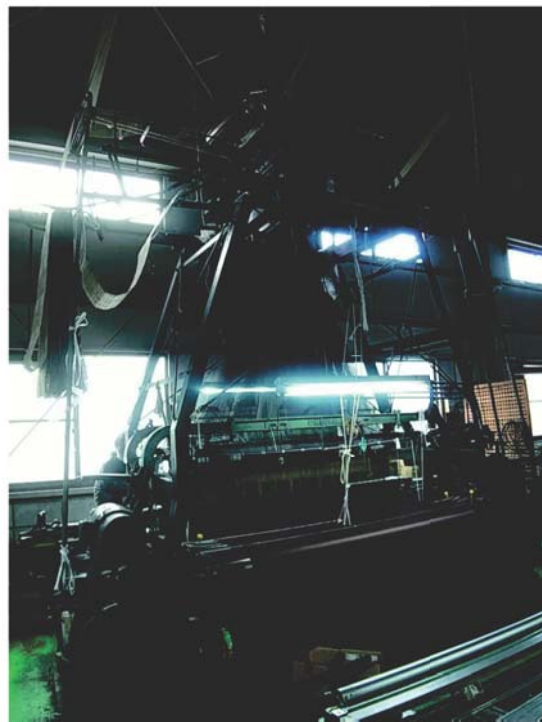
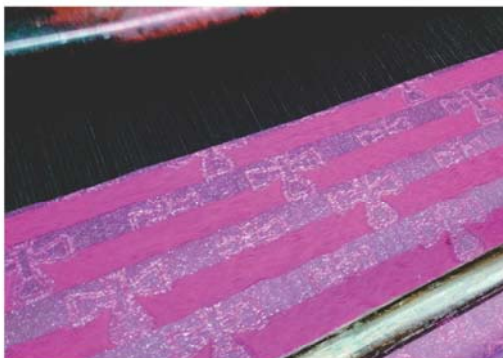
実際に生地を制作させていただいたカナーレさんではまず、たくさんあるサンプルに触れながら、その生地の特徴や製作過程など様々な話を聞きました。次に企画や商談の相手がどんなものを作りたいかを正確に理解し、布に落とすまでの相手とのコミュニケーションを取る難しさを学びました。

岩安毛織さんでは、各々に使う機械の使い方を教えて頂き、自分の生地に使う物で自分で出来るところは自分で操作したりと、様々な過程に触れました。

#### 【葛利毛織株式会社】

様々な紳士服の生地を分解してその生地がどんな糸の番手や組織で織られているかのデータの取り方を学びました。

実際に自分の考えた糸のタイプを自分で組み、選んだ数種類のヨコ糸で色の見え方を見てみると、実際にやってみないと分からないようなことを学びました。



### ●生地制作

服に使うような生地ではなく、カバンなどの小物に使うような生地が作りたいたいと思っ小柄すぎず大柄すぎないようなデザインにしました。

自分の作りたい布のイメージに近い生地をサンプルの中から見つけ、その生地を参考に自分で模様や配色、使う組織を考えました。

### ●この経験をどう活かしたいか

実際に織機を動かす難しさや、布の案を出してから完成するまでの過程の多さや長さを実際に体験し、中でも相手とのコミュニケーションがちゃんと取れていないと、自分の思っていることが相手に伝わらずに想像と違う生地が出来あがってしまうということを知り、技術だけを極めるのではなく、相手との対話能力も上げることも大切だと学びました。

今回体験したことを生かしこの伝統ある尾州産地をこの先も守っていきたいと思います。